

## 編集 後記

第55巻11号では、公衆衛生報告1編、資料3編をお届けします。「地域住民と行政の協働による『せたがや元気体操リーダー』の養成と活動支援システムの構築にむけての取り組み」は住民と行政、大学の協働による実践的ヘルスプロモーション活動に関する報告であり、「自治体病院の医業収支推移に関する規模別要因分析」と「歯列・咬合異常が高校生の心身の健康意識に及ぼす影響」,「青年女子の痩せ志向 \*栄養系短期大学学生の14年間の推移」は、現実的問題に対して重要な示唆を与えるものであり、4編とも実践に直接的に役立つ内容です。

また、今号の論文は多様な領域にわたる内容でした。11月5-7日に福岡で開催された第67回学会総会も約3,400人の参加と1,553題の発表があり、その数の多さと領域の多様性を改めて実感しました。一方で、わが国の現実に目を向けると、金融危機とそれに基づく社会不安が人々の生活と心に影響を与えつつあります。これらがすでに健康格差社会と言われるわが国の現状をさらに深刻化することが懸念されます。このようなわが国の現状と熱気に満ちた総会のギャップを感じるなかで、人々の基本的人権である健康を守るために、学会のこのパワーを結集し、日本社会への発言と政策を変革する力にならないだろうか、そうしなければならぬであろうと感じておりました。

(麻原きよみ)

## 次号予告 (第55巻・第12号)

### 公衆衛生活動報告

東京都市区町村の健康寿命算出の行政的検討

.....上木隆人

### 資料

Do individualized health promotional programs reduce health care expenditure?

A systematic review of controlled trials in the "Health-Up" model projects of the National Health Insurance

(個別健康支援プログラムは医療費を減らすか?

国保ヘルスアップモデル事業のシステマティックレビュー) .....

Etsuji OKAMOTO

知的障がい児者の性に関する実態調査

保護者の性教育に対する意識および支援希望について .....

林 真由美, 他

### 連載

親子保健・学校保健(8).....中澤恵子

運動・身体活動と公衆衛生(10).....種田行男

わが国の結核対策の現状と課題(4).....阿彦忠之

21世紀の地域保健(4).....岡 紳爾, 他

## 地域保健・地域医療分野における卒業後のキャリアパスウェイとその支援環境に関する国際フォーラム

*The Forum on the Whole Public Health Career Pathway*

日時 2009年2月11日(水・祝日) 9:30-17:00(受付9時~)

場所 東京国際交流館国際交流会議場 (東京都江東区青海2-79)

### 特別講演

英国における公衆衛生専門家の育成とその支援環境

英国王立公衆衛生学会会長 アラン・メーヨンデービス教授

Special Lecture: The whole public health career pathway in UK.

Professor Alan Maryon-Davis, President, UK Faculty of Public Health

パネルディスカッション1: 地域保健医療分野の人材育成

パネルディスカッション2: 国際的な教育アライアンスの重要性

同時通訳あり  
参加無料

主催 大学教育の国際化推進プログラム

(戦略的国際連携支援)「保健医療グローバル化時代の教育アライアンス」

後援 日本公衆衛生学会、日本衛生学会

連絡先 東京医科歯科大学 健康推進医学/国際保健医療協力学教室

〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45 TEL: 03-5803-5190 FAX: 03-3818-7176

E-mail: whocc.hith@tmd.ac.jp